

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 10 月 8 日 (2015.10.8)

【公表番号】特表 2014-534773 (P2014-534773A)
 【公表日】平成 26 年 12 月 18 日 (2014.12.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-070
 【出願番号】特願 2014-539973 (P2014-539973)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 28/14 (2009.01)

H 0 4 W 72/12 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 28/14

H 0 4 W 72/12 1 5 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 8 月 18 日 (2015.8.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

1 または複数のコンピューティングデバイスが、

第 1 のユーザの移動体デバイスから、前記デバイスに対する電力に関する情報、前記デバイスのネットワーク接続に関する情報、および前記デバイスの通知モードから成るグループから選択されるデバイス状態情報を受信する、第 1 のメッセージ受信ステップと、

前記第 1 のユーザに対して送信される 1 または複数の発信メッセージを識別するステップと、

前記 1 または複数の発信メッセージのそれぞれの価値を計算するステップであって、前記価値は、前記第 1 のユーザに関する情報について計算される、発信メッセージ価値計算ステップと、

前記 1 または複数の発信メッセージのそれぞれにタイムアウト期間を割り当てるステップであって、前記タイムアウト期間は前記第 1 のユーザと前記 1 または複数の発信メッセージのそれぞれとの間の計算された親和度に反比例し、前記タイムアウト期間は前記デバイス状態情報に基づいてスケール係数によって調整される、ステップと、

前記発信メッセージを発信メッセージキューに入れる、発信メッセージをキューに入れるステップと、

前記デバイス状態情報と、前記タイムアウト期間と、前記 1 または複数の発信メッセージのそれぞれの価値とに基づくトリガ条件を検出すると、前記発信メッセージキュー内の少なくとも 1 つのメッセージを前記移動体デバイスに送信する、送信ステップと、からなる方法。

【請求項 2】

前記発信メッセージ価値計算ステップはさらに、前記 1 または複数の発信メッセージのそれぞれと前記第 1 のユーザとの間の親和度に基づく、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記発信メッセージをキューに入れるステップは、前記発信メッセージキュー内のすべてのメッセージの価値の合計を計算するを含み、前記トリガ条件は、該合計が所定の閾値を超えることを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記所定の閾値は、前記デバイス状態情報に基づく、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記トリガ条件は、前記発信メッセージキュー内の前記 1 または複数のメッセージの前記タイムアウト期間のうちのいずれか 1 つが経過した場合にトリガされる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記デバイス状態情報は、前記移動体デバイスのシステム健全性を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記移動体デバイスの前記システム健全性は、前記移動体デバイスのバッテリー状態を含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

非一時的なコンピュータ記憶媒体であって、命令を備え、前記命令は、1 または複数のコンピューティングデバイスによって実行されると、

第 1 のユーザの移動体デバイスから、前記デバイスに対する電力に関する情報、前記デバイスのネットワーク接続に関する情報、および前記デバイスの通知モードから成るグループから選択されるデバイス状態情報を受信する、第 1 のメッセージ受信ステップと、

前記第 1 のユーザに対して送信される 1 または複数の発信メッセージを識別するステップと、

前記 1 または複数の発信メッセージのそれぞれの価値を計算するステップであって、前記価値は、前記第 1 のユーザに関する情報について計算される、発信メッセージ価値計算ステップと、

前記 1 または複数の発信メッセージのそれぞれにタイムアウト期間を割り当てるステップであって、前記タイムアウト期間は前記第 1 のユーザと前記 1 または複数の発信メッセージのそれぞれとの間の計算された親和度に反比例し、前記タイムアウト期間は前記デバイス状態情報に基づいてスケール係数によって調整される、ステップと、

前記発信メッセージを発信メッセージキューに入れる、発信メッセージをキューに入れるステップと、

前記デバイス状態情報と、前記タイムアウト期間と、前記 1 または複数の発信メッセージのそれぞれの価値とに基づくトリガ条件を検出すると、前記発信メッセージキュー内の少なくとも 1 つのメッセージを前記移動体デバイスに送信する、送信ステップと、が行われるように構成される、媒体。

【請求項 9】

前記発信メッセージ価値計算ステップはさらに、前記 1 または複数の発信メッセージのそれぞれと前記第 1 のユーザとの間の親和度に基づく、請求項 8 に記載の媒体。

【請求項 10】

前記発信メッセージをキューに入れるステップは、前記発信メッセージキュー内のすべてのメッセージの価値の合計を計算するを含み、前記トリガ条件は、該合計が所定の閾値を超えることを含む、請求項 8 に記載の媒体。

【請求項 11】

前記所定の閾値は、前記デバイス状態情報に基づく、請求項 10 に記載の媒体。

【請求項 12】

前記トリガ条件は、前記発信メッセージキュー内の前記 1 または複数のメッセージの前記タイムアウト期間のうちのいずれか 1 つが経過した場合にトリガされる、請求項 8 に記載の媒体。

【請求項 13】

前記デバイス状態情報は、前記移動体デバイスのシステム健全性を含む、請求項 8 に記載の媒体。

【請求項 14】

前記移動体デバイスの前記システム健全性は、前記移動体デバイスのバッテリー状態を含む、請求項 13 に記載の媒体。

【請求項 15】

1 また複数のプロセッサと、

前記プロセッサによって実行可能な命令を含む、前記プロセッサに結合されているメモリと、を備え、前記プロセッサは、前記命令が実行されるとき、

第 1 のユーザの移動体デバイスから、前記デバイスに対する電力に関する情報、前記デバイスのネットワーク接続に関する情報、および前記デバイスの通知モードから成るグループから選択されるデバイス状態情報を受信する、第 1 のメッセージ受信ステップと、

前記第 1 のユーザに対して送信される 1 または複数の発信メッセージを識別するステップと、

前記 1 または複数の発信メッセージのそれぞれの価値を計算するステップであって、前記価値は、前記第 1 のユーザに関する情報について計算される、発信メッセージ価値計算ステップと、

前記 1 または複数の発信メッセージのそれぞれにタイムアウト期間を割り当てるステップであって、前記タイムアウト期間は前記第 1 のユーザと前記 1 または複数の発信メッセージのそれぞれとの間の計算された親和度に反比例し、前記タイムアウト期間は前記デバイス状態情報に基づいてスケール係数によって調整される、ステップと、

前記発信メッセージを発信メッセージキューに入れる、発信メッセージをキューに入れるステップと、

前記デバイス状態情報と、前記タイムアウト期間と、前記 1 または複数の発信メッセージのそれぞれの価値とに基づくトリガ条件を検出すると、前記発信メッセージキュー内の少なくとも 1 つのメッセージを前記移動体デバイスに送信する、送信ステップと、が行われるように構成される、システム。

【請求項 16】

前記発信メッセージ価値計算ステップはさらに、前記 1 または複数の発信メッセージのそれぞれと前記第 1 のユーザとの間の親和度に基づく、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 17】

前記発信メッセージをキューに入れるステップは、前記発信メッセージキュー内のすべてのメッセージの価値の合計を計算するを含み、前記トリガ条件は、該合計が所定の閾値を超えることを含む、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 18】

前記所定の閾値は、前記デバイス状態情報に基づく、請求項 17 に記載のシステム。

【請求項 19】

前記トリガ条件は、前記発信メッセージキュー内の前記 1 または複数のメッセージの前記タイムアウト期間のうちのいずれか 1 つが経過した場合にトリガされる、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 20】

前記デバイス状態情報は、前記移動体デバイスのシステム健全性を含む、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 21】

前記移動体デバイスの前記システム健全性は、前記移動体デバイスのバッテリー状態を含む、請求項 20 に記載のシステム。